

京都市朱雀工房

西山高原工作所

ワークステーションかれん工房

就労系事業所トップ対談

～京都光彩の会 就労系事業所の今とこれから～

社会福祉法人 京都光彩の会

光彩だより 令和2年秋号

◇就労系事業所トップ対談

◇ライオンズクラブ 桂川清掃活動報告

巻頭言

人として人に接する

日本を代表するカウンセラーの河合隼雄は、阪神淡路大震災の救援に際し、次のように語っています。「避難所を訪れたある臨床心理士が一番はじめにしたのは、避難されている人たちと便所掃除を共にすることだった。」(OSJ27 朝日新聞)。
苦しんでいる相手が心を開くためには、こちらも心を開く必要があります。そのためには、傷ついてもデリケートになつていない心に静かに寄り添うこと、および、上から目線で手を差し伸べるのではなく、同じ目線で汗を流し協働して「共感」の関係を一つづつしていくことが求められます。ただし「共感」は避けないと相手を振り回します。

精神科医の神田橋條治は、「共感」が、思い入れ(感情移入)ではなく、「洞察の体験」にあることを強調します。つまり、「この人のここが分からない」「あーっ、そうだったのか」と目からウロコが落ちる、思い込みが壊れる新鮮体験が「共感」だと言うのです。だから、「共感」は相手の全身の言葉を聴くことで生れるものだと神田橋は述べます。

人の心は、小宇宙(ミクロ・コスモス)だと言えます。自分の心も同様で、宇宙の果てが分からないように、私たちは分からないものを自分の中にいっぱい持っています。でも、それを鏡に映すように、イメージを探し、言葉を探し、表現して相手に受けとめてもらい、キャッチしたところを返してもらえると、「共感」が生まれ、心が繋がっている安心感とゆとりが生まれます。

利用者のオンラインを丸ごとリスペクトできるとき、自分のオンラインの尊厳も高められます。そして、利用者の心に寄り添う元気をもらうことができますね。

社会福祉法人 京都光彩の会

理事長 加藤 博史

就労系事業所トップ対談 ～京都光彩の会 就労系事業所の今とこれから～

各事業所の セールスポイント

齊藤 かれん工房の特徴は、メンバーの半分位が女性だという事です。職員も六人中四人なので、女性の方で事業所をお探しの方にはセールスポイントになるのかな？と思います。

中林 西山高原工作所は、場所柄もあって送迎サービスの提供をしています。（主に西京区、中京区）利用者の個人負担はありません。もともとは体調不良から復帰された方や天候などで不安になられて来にくい人も出来るだけ来られるようにという思いから始めました。（利用は要相談。事業所のある西京区に隣接している地区が対象）

梅沢 朱雀工房の移行型は、四月から定員十人に対し五人就職した実績があります。また、就労定着支援にも力を入れています。B型は、個人個人のペースに

合わせた通所が出来るようにしていることです。人によつては週に一日の通所の方もおられます。

利用者に関する エピソード

齊藤 実習で来られた学生さんたちから「作業中の笑い声が好きそうだった」という感想をよく言っていたきます。一緒に過ごしていたらもちろん喜怒哀楽や好き嫌いはあると思いますが、メンバー一人一人が意識して良い雰囲気を作るように声掛けなど心がけて下さっています。

中林 精神障害の方がメインですが、昨年頃から高次脳機能障害や、身体障害の方など幅広い障害を持たれた方の受け入れに対応しています。その方に対し、メンバーが作業中に物を運んだり声をかけて気を遣うなど、この機会に配慮の気持ちが生えているなど相互に作用しているようです。

梅沢 先日車椅子を使用されている実習生を受け入れました。その実習生が車椅子から椅子に移乗する際遠くから駆け寄って補助する姿や、車椅子を押しているってあげる姿など、メンバーたちの優しさある一面が見られました。実習生とのかかわりを通して改めてメンバーの優しさに触れまして。実習生も「みんな親切。良い実習でした」と言つて下さり、メンバー、職員ともに良い経験をさせて頂いたなと思いました。

運営上の課題と 工夫について

齊藤 かれん工房は三階建ての建物なので、階段昇降が大変です。でも、納品の荷物を運ぶ際に、メンバーさんと職員でバケツリレーのようにして「次重い行きます」「次は軽いです」等の声を掛け合つて運ぶなど、みんなで協力して工夫しています。

中林 なかなか来られない

方をどう支援するかが課題です。今はその方たちへこまめに連絡をしています。また、人数増加に伴つて作業エリアについての課題もあります。やはり人が増えると過密になりがちです。コロナ対策についても、仕切り板をいれて密にならないように工夫しています。

梅沢 B型は、日によって利用者数がバラバラなので、朝に十四人来られる日もあつて作業室が密になつてしまうことが課題です。工夫していることは、仕切りの設置や、積極的に施設外就労に行つてもらっていることなどです。利用者数も増えているので、お世話になつている企業にお願いして施設外就労の数を増やしています。

今後力を入れて 行きたいこと

齊藤 新しい仲間の募集に力を入れていますし、今後力を入れる予定です。

梅沢 信吾さん

京都市朱雀工房 施設長



齊藤 タ子さん

ワークステーションかれん工房 施設長



中林 壯介さん

西山高原工作所 施設長



もし見てみるだけでも見てみよう、話だけ聞いてみようと思う方がおられたら、主治医の先生の許可を取っていただいて、是非一度ご連絡ください。新しい仲間が来られるのをみんなでお待ちしております。

小林 色んな障害の方が増えている現状があるので、色々なレベルの仕事を可能な限り提供し、工程をつくっていきます。興味があればどんどん見学に来てください。今はコロナ禍で難しいですが、様々な行事を取り入れ、行事を通してコミュニケーションを学ぶ場面の提供にも力を入れていきたいです。仕事内容については、余裕が出来たら創作活動、例えばレザークラフトや創作的な染めなどをしていきたいです。もっと人数が増えて、希望があれば取り入れていきたいと思っています。

齊藤 このコロナ禍で自主製品の事業が影響を受けました。新しい自主製品の制作に向けていくつか試作を続けて

いるところです。その中の一つが夏のボーンナスキャンペーンで販売した手縫いのマスクで、その他様々開発中です。

梅沢 自主製品については、夏のボーンナスキャンペーンで販売した手作りマスクとマスクの仮置きケースをたくさんの方にご購入いただきました。今後ともみんなで協力して作っていききたいと思っています。移行については、就職率を上げることはもちろん、実習場所の拡大に力を入れていきたいです。今は企業実習する場所が少ないので、職員で本人に合った実習先を探せるように、実習先の開拓をしていきたいと思っています。



京都市朱雀工房

(就労移行支援事業)

【時間】9:00～16:30(感染症予防のため現在は16時)

【定員】10名(現在登録者8名)※募集中

【男女比】男性5名:女性3名

【年齢層】平均年齢38歳(うち20代2名、30代2名)

【訓練内容】プログラム(SST, SFA, WSM, 就労支援)

他:梱包/PC入力/パーキング清掃/自主製品作り等。

(就労継続支援B型事業)

【時間】9:30～16:00(現在は15時45分、左同)

【定員】10名(現在登録者20名)

【男女比】男性13名:女性7名

【年齢層】平均年齢48歳

【訓練内容】プログラム(SFA, 希望者は就労移行のプログラムへの参加可能)。

他:就労移行と同じ作業に参加できます。

【一言】2020年4月以降、5人の方が企業就労されました。就職後の支援(就労定着支援事業)も実施しています。

西山高原工作所(就労継続支援B型事業所)

【時間】9:00～16:30

【定員】20名(現在登録者数27名)※募集中

【男女比】男性18名:女性9名

【年齢層】20～60代、平均年齢49歳

【作業内容】年賀状や冊子などの構成から印刷を行いそれらを封入し発送を行っています。他:検品/縫製/箱詰め/自主製品作業等。

【一言】興味がある方は、気軽に見学に来てみてはいかがでしょうか。お待ちしております。

かれん工房(就労継続支援B型事業所)

【時間】9:00～16:00

【定員】20名(現在登録者数19名)※募集中

【男女比】男性10名:女性9名

【年齢層】20～70代、平均年齢45歳

【作業内容】事務所や法人内の食事作りをしています。他:袋詰め/箱詰め/コインパーキングや建物の清掃/自主製品作り等。

【一言】コロナ対策の為、現在は開始時間が曜日によって異なります。また、基本的に半日の利用をして頂いていますが、徐々に1日利用できるように調整中です。

ライオンズクラブ

桂川清掃活動報告

去る十月十一日(日)、京次いで中止・延期される中、都ミレニアムライオンズクラブ恒例行事である河川敷清掃にブとの恒例行事である桂川清掃参加させていただいた時間掃活動に参加させていただきました。コロナ禍の日常から少ししました。昨今の新型コロナウイルスに離れることのできた貴重な時は恒例の交流会(バーベキュー)は辞退させていただき、清掃活動のみとなりました。利用者職員併せて二十名が参加しました。心配された天気も問題なく、少し汗ばむ陽気の中、嵐山中之島公園から松尾橋までの道のりを歩きながら一時間程かけてゴミを拾いました。最後に萩原会長からご挨拶と全員にお土産をご用意いただき、メンバー、職員ともども非常に有意義な時間を過ごすことができました。感謝しております。

様々な行事やイベントが相



利用者大募集!!

就労 移行支援
就労 継続支援B型

見学
体験利用
受付中

京都市朱雀工房、西山高原工作所、ワークステーションかれん工房では上記の利用者様を募集しています。お気軽にご相談ください。

広報委員会 委員

中林 壮介 (西山高原工作所)
中條 了 (支援センター「なごやか」)
都竹 桃子 (ワークステーションかれん工房)
高橋 恒明 (京都市朱雀工房)
中村 美恵 (支援センター「なごやか」)
松岡 芽以 (グループホーム 賀陽・山ノ内・光)



編集後記

今回の光彩だより、いかがでしたか。機会があれば、ご意見や感想をお聞かせいただければ幸いです。今回の光彩だよりは、一回施設長会議を行っがでしたか。機会があていますが、改めて他の事業所の取り組みを聞き参考にする機会になりました。

今回の光彩だよりは、法人内の三つの就労系事業所が、今抱える課題や取り組みなどについて対談を行い、このうな書面にまとめました。実際は一時間の対談で、たよりではまだまだ伝えきれない内容もあります。法人では、月に一回施設長会議を行っがでしたか。機会があていますが、改めて他の事業所の取り組みを聞き参考にする機会になりました。

今回の光彩だよりは、法人内の三つの就労系事業所が、今抱える課題や取り組みなどについて対談を行い、このうな書面にまとめました。実際は一時間の対談で、たよりではまだまだ伝えきれない内容もあります。法人では、月に一回施設長会議を行っがでしたか。機会があていますが、改めて他の事業所の取り組みを聞き参考にする機会になりました。

利用者と向き合い、寄り添い、共に考え、共に歩む そして誰もが人生の主役に



社会福祉法人 京都光彩の会

Social welfare corp KYOTO kosainokai, Inc

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地 京都市地域リハビリテーション推進センター1F

TEL : 075-813-0501 FAX : 075-813-0520
URL : <http://kyoto-kosainokai.jp>



社会福祉法人京都光彩の会 光彩だより
発行: 京都光彩の会 広報委員会
印刷: 西山高原工作所